

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2019-47506 (P2019-47506A)
 【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-011
 【出願番号】特願 2018-202630 (P2018-202630)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 28/04 (2009.01)

H 0 4 L 1/16 (2006.01)

H 0 4 L 29/14 (2006.01)

【F I】

H 0 4 W 28/04 1 1 0

H 0 4 L 1/16

H 0 4 L 13/00 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 2 月 6 日 (2019.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハイブリッド自動再送要求 (H A R Q) エンティティを使用して、エンハンスドアップリンク送信において拡張専用チャネルを介して無線送受信ユニット (W T R U) から複数のデータブロックを受信するステップと、

前記受信されたデータブロックをバッファに格納するステップと、

前記格納されたデータブロックが不連続であるとの決定であって、欠落したデータブロックを示す決定に応答してタイマを初期化するステップと、

前記タイマの満了に~~応答して、前記バッファから媒体アクセス制御 (M A C) エンティティより上位のエンティティへ前記不連続なデータブロックを転送するステップと、を備え、~~

前記バッファからの前記不連続なデータブロックは、前記欠落したデータブロックのシーケンス番号より後のシーケンス番号を有する、1 つ以上のデータブロックを含む、方法

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記受信されたデータブロックの格納は、ノード B により実行される、方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法において、前記受信されたデータブロックの格納は、無線ネットワークコントローラにより実行される、方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法において、前記タイマの初期化は、ノード B により実行される、方法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の方法において、前記タイマの初期化は、無線ネットワークコントローラにより実行される、方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法において、前記受信したデータブロックを格納することは、前記受信したデータブロックを再順序化バッファに格納することを含む、方法。

【請求項 7】

ハイブリッド自動再送要求 (HARQ) エンティティを使用して、エンハンスドアップリンク送信において拡張専用チャネルを介して無線送受信ユニット (WTRU) から複数のデータブロックを受信するように構成される回路を備え、

前記回路は、前記受信されたデータブロックをバッファに格納するようにさらに構成され、

前記回路は、前記格納されたデータブロックが不連続であるという決定に応答してタイマを初期化するようにさらに構成され、

前記格納されたデータブロックが不連続であるという決定は、欠落したデータブロックを示すものであり、

前記回路は、前記タイマの満了に応答して、前記バッファから媒体アクセス制御 (MAC) エンティティより上位のエンティティへ前記不連続なデータブロックを転送するようにさらに構成され、

前記バッファからの前記不連続なデータブロックは、前記欠落したデータブロックのシーケンス番号より後のシーケンス番号を有する、1 つ以上のデータブロックを含む、無線ネットワーク装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の無線ネットワーク装置において、前記無線ネットワーク装置はノード B である、無線ネットワーク装置。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の無線ネットワーク装置において、前記受信したデータブロックは、MAC プロトコルデータユニットである、無線ネットワーク装置。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の無線ネットワーク装置において、前記タイマは、前記無線ネットワーク装置に設けられている、無線ネットワーク装置。